

第56回（令和8年度第1回）米子市子ども・子育て会議（議事概要）

- 1 開催日時 令和8年7月2日（木）午後6時30分から午後8時15分まで
- 2 場 所 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里 4階 中会議室1、2
- 3 出席者
 - (1) 委員
青木委員、上村委員、室委員、小梅川委員、松南委員、永見委員、徳岡委員、
嘉手苅委員、吉井委員
 - (2) 事務局
塚田こども総本部長、金川こども総本部次長
こども政策課：永榮課長、國谷担当課長補佐、宮中担当課長補佐、砂場係長、
河原主任、藤森主任、田原主事
こども相談課：山川課長、足立課長補佐、吉元室長、長谷川担当課長補佐、小松原係長
こども施設課：矢野課長、枡本担当課長補佐、飯田保育リーダー、松原保育リーダー
こども支援課：長尾次長、上田担当課長補佐
学校教育課：平野課長、木村担当課長補佐
福祉課：橋尾課長補佐

4 議 事

- (1) 開会
- (2) 会議の成立宣言
- (3) 会議の公開及び議事録の作成について
一同承認
- (4) 議事

議題 令和7年度米子市こども計画（よなごっこ未来計画）の実施状況について

【事務局説明】「資料1」「補足資料1」「補足資料2」参照

- ・計画の概要、基本理念、並びに9つの重点施策における1年間の実施状況と評価について説明。

【質問・意見等】

- 嘉手苅委員 現状のB評価(3.0点)へ偏っている状況は、担当部署のモチベーション低下が懸念される。日本の子育て施策は、諸外国と比べ充実しており、米子市もしっかり取り組んでいるので、自信を持って肯定的な評価も検討してはどうか。また、定量的な指標では難しい場合もあるので、利用者の意見聴取など定性的な評価手法も取り入れ、施策改善に活かすことが望まれる。
- 事務局 定量的な指標の難しさはあるが、アンケート等を工夫して課題発見に努めていきたい。
- 室委員 重点施策4の幼保小接続（オープンスクール）において、『不安が減っていない。』と回答した1割の理由を分析し、今後の施策に繋げていただきたい。

- 事務局 自由記載の意見も分析し、次年度の事業に活かしていきたい。
- 徳岡委員 重点施策8に関連して、子育て短期支援事業（ショートステイ等）について、利用希望が多く、断るケースが生じている。里親の開拓など、施設以外の受け皿確保も進めてはどうか。
- 事務局 利用者の需要が供給量を上回っており、事業者側でやむを得ずお断りをしている状況であることは把握している。里親の登録拡大など事業者と連携して受入れ枠の拡大に努めたい。
- 嘉手苺委員 評価方法として、アンケート調査をしてはどうか。ただ、アンケートは質問者の影響が排除できないので、調査の客観性を担保するため、利害関係のない第三者やAIを活用したヒアリング手法、またAIのテキスト分析の活用などの導入も検討してはどうか。すごく革新的な近未来的な取組になると思う。
- 事務局 アンケート調査等の重要性は認識しており、実施方法は色々と検討してまいりたい。
- 松南委員 現行の評価手法では改善策が見えにくいいため、次年度に向けた課題の明確化を重視してほしい。また、幼保小連携における地域格差の解消や、上手くいった事例の就学前施設への共有など、相互の情報共有体制の構築をお願いしたい。
- 事務局 保育施設の有無などによる連携状況の地域差は認識している。合同研修や相互訪問を通じて地域間の連携強化を図っていく。上手くいった事例に関する情報共有についても検討したい。
- 上村副会長 現行の5段階評価は判断が難しいため、「4段階評価」への見直しでも良いのではないかと。評価の本来の目的は次年度の取組に向けた課題の発見であり、段階評価のみにとどまらず、「自由記述」の活用も重視していただきたい。
- 事務局 市の評価に対して市民アンケートで再評価する手法等もあるが、皆様のご意見を伺いたい。
- 上村副会長 全部の項目を市民の方に評価してもらうのは難しいが、幼稚園では、第三者評価として、評議員や理事会で評価してもらっている。
- 嘉手苺委員 誰をターゲットに評価を公開し、アンケートするかが重要であり、保護者や市民のかたになるが、積極的な参加は難しい。外部評価の導入は良い視点だと思うが、広く市民の方に評価してもらうのがベストかと言われると難しい。
- 永見委員 中学生の不登校が増加傾向にある中、当事者である子どもの本音や具体的な要因の把握が困難となっていることが大きな課題である。子どもたちの声を効果的に集める手法として、AI等の先進技術を活用した意見聴取の場の構築など、新たなアプローチの模索が必要と感じている。
- 嘉手苺委員 既存のプラットフォームを活用し、中学生の意見も聞く仕組みづくりも検討してはどうか。

- 事務局 委員各位から「課題の明確化が最も重要である」との指摘を多くいただいたと受け止めている。広く市民から意見を募る手法もあるが、保護者や事業者、行政職員等で構成される本審議会場で多角的な意見をいただくことが、重要な評価プロセスであると認識している。今回の議論を踏まえ、次年度に向けて評価手法をさらに改善・高度化させるとともに、各施策が抱える課題の深掘りと施策の充実に努めていきたい。
- 吉井委員 最近は通報制度の明文化に伴い虐待案件の行政への通報件数が増加している。現場への聞き取りを行うと、行政への通報に至る前に、園内で解決・改善できる事例も多く、不適切と捉えられる背景には、保育士の世代間の認識ギャップやコミュニケーション不足、子どもの人権に対する捉え方の相違などがある。「保育の質の向上」等に、世代間ギャップ解消のための園内研修や相互理解を促す視点を盛り込んでほしい。
- 事務局 世代間ギャップについては、市としても課題として認識しており、保育リーダーを中心に、引き続き、現場と連携して取組を進めていきたい。
- 小梅川委員 高校生との意見交換会や市の意見募集フォーム等を通じて寄せられた意見のうち、施策として具体的に反映された事例があれば伺いたい。
- 事務局 意見提案募集フォームの投稿数は0件だったが、高校生との意見交換会では具体的な要望が数多く寄せられた。これまでに寄せられた意見を踏まえ、ホームページの視認性向上などに反映している。今後も関係部局間で緊密に連携し、丁寧な意見交換と施策への反映を図っていきたい。
- 小梅川委員 子どもの意見を施策に反映するという理念は素晴らしいが、意見募集フォームでの投稿数がゼロだった現状を踏まえ、より意見を寄せやすくなるような、収集方法や周知の工夫を求めたい。
- 事務局 ホームページによる意見募集では実績が得られなかった一方で、学校の「ふるさと教育」などの機会を通じて、中高生等から貴重な意見が寄せられている。子どもならではの斬新な視点や提案を真摯に受け止め、部内で共有し、具体的な施策や計画に確実に反映させていきたい。
- 室委員 優れた成果や取組が明記されている施策に対しても、一律に中間評価(3点)とすることは、評価の妥当性に課題がある。現段階で厳しすぎる評価(3点)を設定してしまうと、次年度以降に過大な上積みがなければ上位評価(4,5点)が得られない状況になりかねない。確実な進捗や成果が認められる施策については、より肯定的な高評価を付与する方向で検討してほしい。
- 事務局 評価のあり方については今後の検討課題としたい。
- 青木会長 本計画は5カ年計画の初年度であり、3年目には中間改訂も予定されている。今回の審議会場で出された多様な意見を反映し、評価方法や計画内容の必要な修正を検討されたい。計画の実施にあたっては、1年ごとに着実な進捗管理と検証(ステップアップ)を行い、次年度に向けた課題を「見える化」することが重要である。課題解決のプロセスを積み重ね

ることで、5年後の米子市が目指す子育て施策の実現に向けて取り組むことを期待する。

【結果】議案のとおり了承された。

(5) 報告

ア 報告 1 家庭的保育事業等の廃止及び特定地域型保育事業者の確認の辞退等について

【事務局説明】「報告資料 1」参照

【質問・意見等】なし

イ 報告 2 「こども誰でも通園制度」の実施状況について

【事務局説明】「報告資料 2」参照

【質問・意見等】

○青木会長 利用人数は想定とおりだったか？

○事務局 スマートフォンを用いた簡易な予約システムの利便性もあり、登録者がコンスタントに増えており、想定以上の保護者ニーズがあることを実感している。また、現在の利用状況は、昨年度先行して試行事業を実施した鳥取市と同水準であり、本市においても確実な需要があることを確認できた。

ウ 報告 3 米子市 5 歳児健康診査（5 歳児よなごっこ健診）の実施状況について（令和 7 年度事業報告）

【事務局説明】「報告資料 3」参照

【質問・意見等】なし

エ 報告 4 発達支援保育サポーター事業の取組について

【事務局説明】「報告資料 4」参照

【質問・意見等】

○上村副会長 今年度より民間も利用できるようになった。先日実施してもらったが、こういった取組は、ありがたいので今後ともよろしくお願いしたい。

オ 報告 5 西保育園及びねむの木保育園の統合建て替えについて

【事務局説明】「報告資料 5」参照

【質問・意見等】なし

カ 報告 6 児童文化センター共創施設整備に向けたワークショップの開催結果について

【事務局説明】「報告資料 6－1」、「報告資料 6－2」参照

【質問・意見等】なし

キ 報告 7※ 令和 8 年度米子市・境港市共同事業『特別保育情報連携基盤事業（一時預かりの相互利用と子育て支援デジタル化）』の進捗状況について

【事務局報告】「報告資料 7」参照

ク 報告 8※ 子育てクラウドシステム（キッズコネクト）導入の進捗状況について

【事務局説明】「報告資料 8」参照

※報告 7、8 は併せて説明。

【質問・意見等】

○嘉手苅委員 自分自身も活用してみたが、最初の登録作業が難しいと感じた。でき

ない人もいるのではないか。赤ちゃん訪問の際などに、登録補助できると良いのではないか。

○事務局

専用のコールセンターを設けて、登録・使い方のフォローを実施している。今後は妊婦健診等で案内していきたいと考えている。

(6) その他

特になし

(7) 閉会